

講演会・講習会

原則として日本化学会の会員は、主催者の会員と同等の条件(参加費用)で参加できます。

この欄への掲載については、日本化学会ホームページ www.chemistry.or.jp/journal/kakou-1/koen-boshu.html をご参照下さい。

なお、日程・内容などが変更になる場合もございますので、最新の情報は各主催者のHPなどでご確認ください。

日本化学会が主催・共催・協賛・後援し、本誌に掲載された討論会に関する情報は、下記本会ホームページからもご覧になることができます。
www.chemistry.or.jp/event/calendar/index.html

第418回 液体クロマトグラフィー 研究懇談会

—HPLC分析のトラブルシューティング—

主催 日本分析化学会・LC研究懇談会

後援 日本化学会

会期 4月17日(金)

開催方式 対面式

会場 (株)日立ハイテクアナリシス サイエンスソリューションラボ東京(中央区新富町2-15-5 RBM 築地ビル) [交通] 有楽町線「新富町」駅より徒歩1分

参加申込締切 4月9日(木)

HPLCではピーク溶出の早期化や面積再現性不良などのトラブルが起こることがあります。原因を特定し適切に対処すること、また日常点検とメンテナンスによる予防が重要です。今回は前処理やカラム・周辺機器を含めたトラブルシューティングの具体的な対処法を紹介します。

講演

- 講演主題概説(日立ハイテクアナリシス) 清水克敏
- HPLCトラブルを未然に防ぐ超純水装置のメンテナンス法と使い方のポイント(メルク) 石井直恵
- 溶離液、試薬調製におけるトラブルシューティング(日立ハイテクアナリシス) 清水克敏
- 前処理におけるトラブルシューティング(ジーエルサイエンス) 太田茂徳
- C18カラムにおけるトラブルシューティング(化学物質評価研究機構) 坂牧 寛
- HPLCのハードウェアに関するトラブルシューティング(日本分光) 佐藤泰世
- アミノ酸分析計におけるトラブルシューティング(日立ハイテクアナリシス) 宮野桃子
- LC-MSにおける日常分析の留意点と最新技術(島津製作所) 服部考成
- 総括:HPLC分析のトラブルシューティング(東理大) 中村 洋

参加費 学生1,000円、後援学会・個人会員4,000円、後援学会・団体会員4,500円、その他5,000円

懇親会 講演終了後。会費5,000円

参加申込方法 Web

申込先・問合先 141-0031 品川区西五反田1-26-2 五反田ハイツ304号(公社)日本分析化学会・LC研究懇談会 E-mail: katsutoshi.shimizu.wp@hitachi-hightech.com <https://www.lckon.org/lckon/reikai/lckon0418.html>

データ駆動型材料科学研究会 ウェビナー

主催 データ駆動型材料科学研究会

協賛 日本化学会

会期 4月20日(月)16時~17時40分

開催方式 オンライン

参加申込締切 4月20日(月)16時

データ駆動型材料科学研究会では、データ駆動型材料科学の意義や最新の研究動向、手法などを共有する場として、「データ駆動型材料科学研究会 ウェビナー」を定期的に開催いたします。

本ウェビナーでは、アカデミア・産業界を問わず、データ駆動型アプローチを活用した材料科学の最前線で活躍する皆様の講演を通じて、知見の交流と議論の深化を目指します。

講演 高原 渉(日立製作所・奈良先端大)、是津信行(信州大)

参加費 無料

参加申込方法 Web

申込先・問合先 100-0004 千代田区大手町1-6-1 データ駆動型材料科学研究会 電話(080)1961-0634 E-mail: rabishibata@jp-matlantis.com <https://sites.google.com/view/soddm/activities/events/2026-4-20>

第65回顔料・色材基礎講座

主催 日本顔料技術協会

協賛 日本化学会

会期 4月23日(木)9時30分~24日(金)16時55分

開催方式 対面式

会場 大阪産業技術研究所森之宮センター3階大講堂(大阪市城東区森之宮1-6-50) [交通] JR大阪環状線「森ノ宮」駅下車、阪神高速高架下東へ300m北へ300m徒歩8分

参加申込締切 定員(90名)になり次第

本講座は、顔料・色材関連メーカー、ユーザー、ディーラーの方々を対象に、顔料・色材の基礎知識の習得を目的とした入門講座です。

顔料総論、顔料試験法、パール顔料、群青、体質顔料、複合酸化顔料、酸化チタン顔料、酸化鉄顔料、カーボンブラック、顔料分散剤、染料レーキ・アニリンブラック、油性染料、有機赤色顔料、蛍光顔料、食用色素、有機黄色顔料、有機青色顔料、機能性色素、化粧品用顔料、プラスチック用着色剤、顔料の分散。各講30~45分。各メーカー技術者による講義形式。

参加費 会員・協賛会員22,000円、会員外27,000円

参加申込方法 E-mail

申込先・問合先 666-0015 川西市小花2-23-2 日本顔料技術協会事務局 電話(072)759-8506 FAX(072)759-9008 E-mail: kotoku@fuji-pigment.co.jp <https://www.gankyo.jp>

第32回化学安全講習会

主催 日本化学会近畿支部

会期 5月7日(木)10時~8日(金)16時30分

開催方式 対面式

会場 大阪科学技術センター7階700号室(7日(木))、大ホール(8日(金)) (大阪市西区靱本町1-8-4) [交通] Osaka Metro 四つ橋線「本町」駅下車25番・28番出口を北へ約5分、または同御堂筋線「本町」駅下車6番出口を西北へ約10分

参加申込締切 4月16日(木)

1日目 7日(木)10時~16時

1. 化学物質の発火・爆発危険性について(グリーン・パイロラント) 松永猛裕

2. 化学防護手袋の選定および評価について(日本触媒) 右田雄作

3. 化学プラントにおけるリスクアセスメントの現状と課題(京業人材育成会) 中村昌允

4. 高圧ガス事故例、ヒューマンエラーの実体験とその防止と重大災害を防ぐために(兵庫県高圧ガス保安協会派遣講師) 紙田章義

2日目 8日(金)10時~16時30分

5. 事故事例から考える実験室・作業場の安全管理(阪大安全衛生管理部) 山本 仁

6. 実験室・作業場における化学物質のリスクアセスメント(阪大安全衛生管理部) 山本 仁

7. 実験で解説する静電気による火災・爆発を防止するための安全対策(SL経営) 蒲池正之介

参加費 日本化学会会員・協賛団体32,000円、大学官公庁所属20,000円、学生8,000円、非会員42,000円

参加申込方法 Web

申込先 日本化学会近畿支部 <https://kinki.chemistry.or.jp/csjevent/anzen26.html>

問合先 550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センター6階 日本化学会近畿支部 電話(06)6441-5531 FAX(06)6443-6685 E-mail: csjevent@kinki.chemistry.or.jp HPアドレスは同上

第13回 慶應有機化学若手シンポジウム

主催 慶應有機若手シンポジウム実行委員会

協賛 日本化学会

会期 5月9日(土)

開催方式 対面式

会場 慶應義塾大学矢上キャンパス(横浜市港北区日吉3-14-1) [交通] 東急東横線、東急目黒線/横浜市営地下鉄グリーンライン「日吉」駅より徒歩15分

参加申込締切 4月30日(木)

1. ポリケチド天然物のモジュラー型合成を可能にする新戦略(北里大大村研) 千成 恒

2. 放線菌が生産する熱ショック代謝物(HSM)のケミカルバイオロジー(慶大理工) 齋藤 駿

3. 分野越境型反応開発研究—光駆動型選択的σ結合開裂(早大高等研) 太田英介

4. 半合成を利用した糖質関連化合物の精密合成(阪大院理) 真木勇大

5. 電気化学分析から始まる酸化触媒研究の新展開(東北大院薬) 笹野裕介

6. 天然物合成酵素を用いた複雑修飾ペプチドの化学—酵素合成(北大院薬) 松田研一

7. 修飾デザインで拓く新奇π共役分子の合成と展開(名大ITbM) 八木亜樹子

参加費 無料

懇親会 5月9日(土)。会費制

参加申込方法 Web

申込先・問合先 慶應有機化学若手シンポジウム実行委員会 E-mail: kocsympoyr@gmail.com <https://sites.google.com/view/ko-organic-symposium>

2026年度「ぶんせき講習会」 (基礎編その1)

—分析における統計手法

～統計の基礎と統計手法の実践について～

主催 日本分析化学会近畿支部近畿分析技術研究懇話会

協賛 日本化学会近畿支部

会期 5月15日(金)9時30分～16時50分

開催方式 オンライン・対面併催

会場 大阪公立大学 I-site なんば+オンライン(Zoom)(大阪市浪速区敷津東 2-1-41) [交通] 南海本線「なんば」駅下車中央出口より南へ約800m徒歩約12分、大阪メトロ御堂筋線・四つ橋線「大国町」駅下車1番出口より東へ約450m徒歩約7分

参加申込締切 4月24日(金)定員(現地50名、オンライン100名)なり次第。4月24日(金)以降のキャンセルは不可。

近年の分析機器は高性能化が進み、その操作は簡便化しています。このため初心者でも測定が容易となった反面、分析機器がブラックボックス化し、コンピュータ処理された数値として測定データが出力されることが多いため、その値が意味あるものかを吟味することや有効数字を考慮することが少なくなったように見受けられます。そこで本講習会では、主に分析初心者および統計に関して再度学習したい方を対象に、分析化学の基礎である「有効数字、測定データの統計処理」の講義と演習を企画しました。これにより統計に関する基礎を習得できます。

参加費 主催・協賛団体所属会員6,000円、学生2,500円、会員外10,000円

参加申込方法 Web

申込先 550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4 公益社団法人日本分析化学会近畿支部 電話(06)6441-5531 FAX(06)6443-6685 E-mail: mail@bunkin.org https://www.bunkin.org/2025/0523_bunseki_kousyu1.html

問合せ先 560-0043 豊中市待兼山町1-1 諏訪雅頼(阪大) 電話(06)6850-6111 E-mail: msuwa@chem.sci.osaka-u.ac.jp

セミナー

化学プロセスへの適用を見据えた フロー合成、マイクロデバイスの 開発最前線

—講演&展示会—

主催 化学工学会関西支部

協賛 日本化学会近畿支部

会期 5月22日(金)13時～17時30分

開催方式 オンライン・対面併催

会場 大阪科学技術センター7階700号室(大阪市西区靱本町1-8-4) [交通] Osaka Metro 四つ橋線「本町」駅25・28番出口より北へ徒歩約7分つば公園北詰

参加申込締切 5月15日(金)ただし定員(50名)を越えた場合に限り、オンライン参加のご案内になります。

1. 開会の挨拶・趣旨説明

2. マイクロリアクターの開発とマイクロ化学工学の基礎研究—マイクロ反応器システムの開発と反応設計・操作論(京大院工) 牧泰輔

3. フロー合成法の工業的生産に向けた開発事例(富士フィルム) 嘉藤彰史

4. フロー合成装置の現状と事例紹介(DFC) 松本一希

5. 回して細胞を見てみよう: 単一細胞の非染色分析を可能とするマイクロデバイス(兵庫県大院理) 鈴木雅登

6. 定量ポリメラーゼ連鎖反応(qPCR)法のマイクロ流路を用いた高速化と臨床検査への応用(産総研) 永井秀典

7. マイクロ流路内で製造する機能性材料(岡山大院自然科学) 小野 努

8. 閉会の挨拶

参加費 主催・日本化学会個人正会員19,000円、主催・日本化学会法人会員23,000円、大学・公設機関7,000円、学生会員3,000円、会員外学生5,000円、会員外37,000円(テキスト代・消費税込、オンライン参加も同額)

参加申込方法 Web

申込先・問合せ先 550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4 公益社団法人化学工学会関西支部 電話(06)6441-5531 FAX(06)6443-6685 E-mail: apply@kansai-scej.org <https://www.kansai-scej.org/topics/7003>

第37回仙台シンポジウム 「研究するヒント」

主催 仙台シンポジウム組織委員会

共催 日本化学会 有機化学若手育成部会

会期 5月23日(土)

開催方式 対面式

会場 東北大学青葉山キャンパス青葉山 commons(農学部)(仙台市青葉区荒巻字青葉468-1) [交通] 仙台市地下鉄東西線「青葉山」駅より徒歩約5分

参加申込締切 5月18日(月)

1. 錯体触媒の精密設計: 基礎から応用まで(科学大物質理工学) 中島裕美子

2. 医薬品原薬の持続可能な製造法構築に向けた取り組みの紹介(塩野義製薬製薬研) 釣谷孝之

3. 炭素-水素結合の直接的変換を基盤とする分子構築法の開発(阪大名誉) 三浦雅博

4. ストックホルム宣言を実践するための有機合成化学の挑戦(東大院理) 小林 修

5. キノコが関わる未解明生命現象の化学的・科学的解明—フェアリーリングとスギヒラタケ急性脳症事件(静岡大特別栄誉) 河岸洋和

6. 有機化学よもやま話: 200年を前に(東大院栄誉, 北里大院栄誉) 鈴木啓介

ポスター発表 東北地区の大学院生～若手教員による発表

参加費 学生の方無料、学生以外の方は部会にご入会いただくも参加無料(部会年会費正部会員5,000円、法人会員(1口)50,000円)

参加申込方法 Web

申込先 日本化学会有機化学若手育成部会 <https://ocyrd.csj.jp>

問合せ先 980-8578 仙台市青葉区荒巻字青葉6-3 東北大学大学院理学研究科 林 雄二郎, 森 直紀 E-mail: 37sendai_sympo@grp.tohoku.ac.jp

日本膜学会第48年会

主催 日本膜学会

協賛 日本化学会

会期 6月1日(月), 2日(火)

開催方式 対面式

会場 東京都立多摩産業交流センター(東京たま未来メッセ)(八王子市明神町3-19-2) [交通] 京王線「新宿」駅から特急で約40分「京王八王子」駅から徒歩2分

参加申込締切 事前参加登録(事前二次登録)5月27日(水)

日本膜学会第48年会对下記の通り開催いたします。内容は、例年通り人工膜、生体膜ならびに境界領域と、膜学の広範囲な内容を含む年会对を企画しております。基礎から応用まで膜の科学、技術に関心をお持ちの皆様のご参加をお待ちしております。

※詳細はHP (https://www.maku-jp.org/conference/article/_peS9VNA) をご参照下さい。

参加費 (事前一次登録) 主催団体・協賛学会員9,000円(不課税)、学生5,000円(不課税)、会員外27,500円(税込)

懇親会 6月1日(月)18時から(予定)、東京都立多摩産業交流センターにて。会費7,000円(事前登録)

参加申込方法 Web 下記HPより

申込先・問合せ先 日本膜学会 渡部恭吉 電話(03)3815-2818 E-mail: membrane@mua.biglobe.ne.jp <https://48nenkai.peatix.com/>

セミナー

化学工学におけるMI/PIとDX: プロセスと材料の革新に向けて

主催 化学工学会関西支部

協賛 日本化学会近畿支部

会期 6月5日(金)13時～18時30分

開催方式 対面式

会場 大阪科学技術センター8階小ホール(大阪市西区靱本町1-8-4) [交通] Osaka Metro 四つ橋線「本町」駅25・28番出口より北へ徒歩約7分つば公園北詰

参加申込締切 5月27日(水)ただし定員(70名)を越えた場合に限り、オンライン参加をご案内することあります。

1. 産業のためのMI/PI～化学工学的エッセンスも織り交ぜて(住友電工) 高桑達哉

2. 生成AI時代の材料設計(ダイキン工業) 茂本 勇

3. 計算やMIと現場課題を結びつける手段としてのDX(QunaSys) 高橋草太

4. 生成モデル・生成AIを活用した無機材料開発(奈良先端大) 藤井幹也

参加費 主催・日本化学会個人正会員19,000円、主催・日本化学会法人会員23,000円、大学・公設機関7,000円、学生会員3,000円、会員外学生5,000円、会員外37,000円(テキスト代・消費税込、オンライン参加も同額)

懇親会 17時～18時30分、同所にて。会費無料

参加申込方法 Web

申込先・問合せ先 550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4 公益社団法人化学工学会関西支部 電話(06)6441-5531 FAX(06)6443-6685

E-mail: apply@kansai-scej.org <https://www.kansai-scej.org/topics/7156>

第36回福岡シンポジウム 0→∞:分子を紡ぐ 創造力を未来へ

主催 福岡シンポジウム組織委員会
共催 日本化学会有機化学若手育成部会
会期 6月6日(土)

開催方式 対面式

会場 九州大学筑紫キャンパス筑紫ホール
(春日市春日公園 6-1) [交通]「大野城」駅より徒歩

参加申込締切 5月25日(月)

実行委員長 有澤美枝子(九大院農)

講演

- ゲノムマイニングを基盤とする天然物化学研究と創薬への挑戦(東北大院薬) 浅井禎吾
- キラル分子を光学活性体として得る二つの新手法(九大先導研) 友岡克彦
- 高分子の有機合成と分解(東大院工) 野崎京子
- sp³炭素-水素結合官能基化反応を実現する触媒システムの創製(東大院薬) 三ツ沼治信
- 電界誘起気泡を用いたバイオメディカル機能創発(九大院工) 山西陽子

参加費 学生の方無料, 学生以外の方は部会にご入会いただくと参加無料(部会年会費正部会員5,000円, 法人会員(1口)50,000円)

参加申込方法 Web

申込先 日本化学会有機化学若手育成部会 <https://ocyrd.csj.jp>

問合せ 819-0395 福岡市西区元岡744 九州大学大学院農学研究院 有澤美枝子 FAX (092)802-4719 E-mail: fukuoka36@agr.kyushu-u.ac.jp

先端技術を支える単位操作シリーズ 晶析技術の基礎と最新動向

—講演&展示会—

主催 化学工学会関西支部
協賛 日本化学会近畿支部
会期 6月12日(金)9時30分~18時

開催方式 対面式

会場 大阪科学技術センター8階中・小ホール(大阪市西区靱本町1-8-4) [交通] Osaka-Metro 四ツ橋線「本町」駅25・28番出口より北へ徒歩約7分うづぼ公園北詰

参加申込締切 6月5日(金)ただし定員(80名)になり次第

- 工業晶析の最近の動向と今後の展望(結晶の純度に関して)(兵庫大院工) 前田光治
- 結晶粒子群に特性を作り込むための晶析操作設計(東農大院工) 滝山博志
- 展示企業からのショートプレゼンテーション
- ポスターセッションおよび展示会
カッラギ工業(株), (株)ササクラ, シーメンズ(株), (株)旭製作所/CFDLab 共同出展, 冷化工業(株), (株)チップトン, メトラー・トレド(株)
- 振動流バツフル晶析装置による連続晶析プロセスの強化(阪公大院工) 堀江孝史

- 超音波連続晶析技術の開発と実装に向けた取り組み(カネカ) 町田康士
- 微細粒度制御に向けた種晶循環晶析システムの構築(シオノギファーマ) 遠山真之
- 展示企業からのショートプレゼンテーション

参加費 主催・日本化学会個人正会員20,000円, 主催・日本化学会法人会員24,000円, 大学・公設機関8,000円, 学生会員3,000円, 会員外学生5,000円, 会員外38,000円(テキスト代・消費税込)

懇親会 16時45分~18時, 同所小ホールにて。会費無料, ポスターセッションおよび展示会と同時開催

参加申込方法 Web

申込先・問合せ 550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4 公益社団法人化学工学会関西支部 電話(06)6441-5531 FAX(06)6443-6685 E-mail: apply@kansai-scej.org <https://www.kansai-scej.org/topics/6996>

第128回有機合成シンポジウム

主催 有機合成化学協会

協賛 日本化学会

会期 6月16日(火), 17日(水)

開催方式 対面式

会場 岡山大学(津島キャンパス) 創立五十周年記念館ほか(岡山市北区津島中1-1-1) [交通] JR「岡山」駅からバスまたはタクシー

参加申込締切 6月2日(火)

受賞講演 2025年度企業冠賞「東ソー・環境エネルギー賞」布施新一郎(名大), 2025年企業冠賞「日産化学・有機合成新反応/手法賞」山下恭弘(東大)

一般発表 口頭発表, ポスター発表, 学生ポスター発表表彰

参加費 一般(有機合成化学協会会員, 日本化学会会員)12,000円, 学生[会員, 会員外とも]予稿集付5,000円/予稿集無2,000円, 一般(会員外)17,000円

参加申込方法 Web

申込先・問合せ 有機合成化学協会 <https://www.ssocj.jp/event/128symposium/>

第47回光化学若手の会

主催 第47回光化学若手の会実行委員会

共催 日本化学会 光化学協会

会期 6月19日(金)13時~20日(土)12時

開催方式 対面式

会場 タカオネ(八王子市高尾町2264) [交通]「高尾山口」駅から徒歩1分

参加申込締切 4月27日(月)

主題 光化学全般(有機・無機光化学, 光機能分子・材料, 光触媒, イメージング, 分光, 理論など)

発表形式 講師による講演, 学生口頭・ポスター発表。優秀発表者には発表賞を授与いたします。

講師 作田絵里(長崎大), 今田裕(Gwangju Institute of Science and Technology, 理研), 斉藤光(九大), 狩保歩(OIST), 岡崎めぐみ(東京科学大), 大曲駿(東京科学大)

参加費 学生13,000円, 一般18,000円

参加申込方法 Web

申込先・問合せ 石田洋平 <https://sites.google.com/view/photochem-wakate2026>

炭素材料学会 先端科学技術講習会 2026

—蓄電デバイスに関わる

ポラスカーボン・ナノカーボン—

主催 炭素材料学会

協賛 日本化学会

会期 6月23日(火)10時~16時30分

開催方式 対面式

会場 連合会館・201会議室(千代田区神田駿河台3-2-11) [交通]「新御茶ノ水」駅B3出口徒歩0分

参加申込締切 6月1日(月)ただしクレジットカード決済の場合, 申込登録は6月15日(月)まで可。

- 高容量リチウムイオン電池用負極材の開発動向(NK エナジーフロンティア) 小林直哉
- ハイブリッドスーパーキャパシタ(HSC)のデータセンターへ展開とその特性紹介(武蔵エナジーソリューションズ) 安東信雄
- 導電性ダイヤモンド材料の開発と電気化学キャパシタへの応用(東理大) 近藤剛史
- ナトリウム・カリウムイオン電池用炭素負極の材料科学(東理大) 駒場慎一
- 単層カーボンナノチューブの蓄電池応用(日本ゼオンCNT研究所) 竹下 誠
- 劣化に強いキャパシタ・リチウム空気電池用炭素材料の設計指針(東北大・3DC) 西原洋知

参加費 正会員(協賛学協会含)・賛助会員25,000円, 学生会員(協賛学協会含)5,000円, 非会員35,000円, 学生非会員10,000円

参加申込方法 Web

申込先・問合せ 炭素材料学会先端科学技術講習会ヘルプデスク 電話(03)5227-8632 E-mail: tanso-koshukai@conf.bunken.co.jp https://www.tanso.org/event/academic/event2026/training_2026/

2026年度高校生による 環境安全とリスクに関する 自主研究活動支援事業

主催 研究実験施設・環境安全教育研究会(REHSE)

後援 日本化学会

実施期間 7月1日(水)~3月31日(水)

会期 3月31日(水)(成果発表会)

開催方式 対面式

会場 研究活動は各高校, 2027年3月の成果発表会は東京大学(文京区本郷7-3-1) [交通] 地下鉄丸の内線「本郷三丁目」駅より徒歩10分, 地下鉄千代田線「根津」駅より徒歩10分等(詳細は東京大学HPを参照)

参加申込締切 6月13日(土)

高校生・高等専門学校(3年生まで)が, 環境安全やリスクに関連のある研究テーマを決め, 調査・研究を行い, 報告書としてまとめる活動を支援するとともに, 口頭発表および大学等の施設見学をする機会を提供します。具体的な支援として, 研究活動費の支給, 専門家による研究活動への助言, 3月に

東京大学で開催される成果発表会(口頭発表)や研究施設見学会への招待などをいたします。詳しくは下記REHSE HPの「高校生の自主研究活動支援」をご覧ください。

参加費 無料

参加申込方法 E-mail

申込先・問合せ先 NPO法人REHSE 高校生自主研究活動支援事業事務局 電話(080)4383-2007 E-mail: koukousei@rehse2007.com <https://rehse2007.com/>

第58回有機金属若手の会 夏の学校

主催 有機金属若手の会

協賛 日本化学会

会期 7月6日(月)~8日(水)

開催方式 対面式

会場 アヤハレークサイドホテル (520-0801 大津市におの浜 3-2-25) [交通] JR・京阪「膳所」駅から徒歩

参加申込締切 定員になり次第

招待講演 杉野日道紀(京大), 橋本久子(東北大)

依頼講演 内田さやか(東大), 砂田祐輔(東大), 永木愛一郎(北大), 畠山琢次(京大), 吉戒直彦(東北大), 石垣侑祐(北大), 竹林智司(沖縄科技大), 中室貴幸(東大)

若手講演 村田 慧(理研), 浅子壮美(理研), 久保田浩司(北大) および博士課程学生や企業若手研究者による口頭発表(4件程度)
ポスター発表 大学院学生によるポスター発表(対面形式, 100件程度, 先着順)

若手講演, ポスター発表を募集します。参加申込時にお知らせ下さい。

※詳細については下記HPにてご確認ください。

参加費 学生 35,000円, 一般 45,000円(食費, 宿泊費含む)

参加申込方法 E-mail

申込先・問合せ先 611-0011 宇治市五ヶ庄 京都大学化学研究所 第58回有機金属若手の会夏の学校事務局 電話(0774)38-3182 FAX(0774)38-3186 E-mail: om.wakate58@gmail.com <https://sites.google.com/view/omwakate58/>

LC研究懇談会 第31回特別講演会・見学会

主催 日本分析化学会・LC研究懇談会

後援 日本化学会

会期 7月10日(金)

開催方式 対面式

会場 一般財団法人化学物質評価研究機構(CERI) 東京事業所 (埼玉県北葛飾郡杉戸町

下高野 1600) [交通] 東武日光線「杉戸高野台」駅下車徒歩約15分

参加申込締切 6月26日(金)

司会・現地世話人 坂牧 寛 (CERI)

1. 受付

2. LC研究懇談会・委員長挨拶(東理大) 中村 洋

3. CERI東京事業所の紹介(CERI東京事業所) 四角目和広

4. 見学会(社内施設見学)

5. 講演1 ムーンショット型研究開発プロジェクト 一海洋生分解性プラスチックの評価法の開発(CERI高分子技術部) 菊地貴子

6. 休憩・記念撮影

7. 講演2 高精度脂肪酸分析に向けた基盤技術の検討—EPA代謝物及びフラン脂肪酸の分取精製と構造解析(CERIクロマト技術部) 緒方伸也

8. 情報交換会

参加費 5,000円(税込)

参加申込方法 Web

申込先・問合せ先 141-0031 品川区西五反田 1-26-2 五反田ハイツ 304号 (公社) 日本分析化学会液体クロマトグラフィー研究懇談会 E-mail: nakamura@jsac.or.jp <https://www.lckon.org/event/event140.html>

第23回化学史研修講演会

主催 化学史学会

後援 日本化学会

会期 8月22日(土)13時~16時30分

開催方式 オンライン・対面併催

会場 東京大学山上会館001会議室(文京区本郷7-3-1) [交通] 地下鉄「本郷三丁目」駅、「湯島」駅、「根津」駅から徒歩10分, 「東大前」駅から徒歩8分, 都営地下鉄「本郷三丁目」駅から徒歩8分

参加申込締切 7月27日(月)(その後も受け付けますが, 対面参加者はお早めに)

講演

1. 科学における賞—その役割と変遷(科学ジャーナリスト) 辻 篤子

ノーベル賞を筆頭に, 科学分野だけでも数多くの賞が国内外に存在している。こうした賞は科学の世界でどのような役割を果たしてきたのか。21世紀に入り, 賞金額ではノーベル賞をしのぐ賞も次々に登場している。功罪を含め, 賞と科学のかかわりを様々な視点から考えてみたい。

2. 理研のお茶博士—三浦政太郎と辻村みちよ(総合研究大学院大) 古川 安

戦前期, 理化学研究所の鈴木梅太郎の下で2人の研究者が緑茶のビタミンCについての共同研究を行った。1人はオペラ歌手三浦環の夫・三浦政太郎(1879~1929), もう1人は日本初の女性農学博士となる辻村みちよ

(1888~1969)である。両者の研究の背景, 経緯, インパクトなどについて論じる。

参加費 無料 講演会資料代1,000円(会場にて販売)

参加申込方法 Web 下記学会HPの申込みフォームから。会の詳細もHPに掲載。参加登録者で冊子資料代1,000円+発送手数料300円を振り込んだ方には, 冊子資料を郵送します。ご希望の方は, 送付先を明記の上, 8月4日(火)までに郵便局の振替用紙で次の口座へ1,300円送金して下さい。振替口座: 00188-0-175468 加入者名: 化学史学会

申込先 化学史学会HP (<https://kagakushi.org/form>)

問合せ先 514-8507 津市栗真町屋町1577 三重大学全学共通教育センター 和田正法研究室 化学史学会事務局 電話(059)231-9930 FAX(059)231-9353 E-mail: office@kagakushi.org <https://kagakushi.org/>

第138回触媒討論会

主催 触媒学会

協賛 日本化学会

会期 9月9日(水)~11日(金)

開催方式 対面式

会場 熊本大学(熊本市中央区黒髪2-39-1) [交通] JR「熊本」駅から産交バス等「楠団地」「光の森産交」行等(子飼経由)「熊本大学前」下車

参加申込締切 講演申込・講演者参加登録申込締切: 5月12日(火) 予稿提出締切: 7月27日(月), 一般参加登録申込締切: 下記HPにてご案内

第138回触媒討論会では, 特別講演, 表彰受賞講演, 依頼講演, 口頭発表(A1講演, A2講演), ポスター発表を会期中に8会場の予定で開催いたします。また学生会員のA2講演者を対象とした学生口頭発表賞, 学生会員のポスター発表者を対象とした学生ポスター発表賞を設定します。口頭発表およびポスター発表を広く募集しますので, 下記の申込み方法に従いお申し込み下さい。なお, 本討論会では討論会Aのみの開催となります。

口頭発表: A1講演(発表10分, 討論5分), A2講演(発表15分, 討論15分) ポスター発表: 2時間以上(ポスター発表を別日に設定する可能性があります。)

参加費 下記HPにてご案内

懇親会 9月10日(木)(予定)

参加申込方法 Web

申込先・問合せ先 101-0062 千代田区神田駿河台1-5 化学会館3F 一般社団法人触媒学会 電話(03)3291-8224 E-mail: catsj@pb3.so-net.ne.jp <https://catsj.jp/catsj-meeting>